

# 岩手県医療介護関係施設 食形態分類標準化実態調査 2023 結果の概要

## 1 調査概要

・目的	<p>岩手県食形態分類標準化推進事業(令和2～4年度)のアウトカム評価を求め、県内の高齢者の健康的な生活を続けるための栄養確保と医療・介護・地域の食支援連携の実態を把握し、事業成果及び課題を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『嚥下調整食マネジメント 岩手県ガイドライン』の活用による各施設での嚥下調整食の実施状況</li> <li>・“食支援連携パス”としての『栄養管理情報提供書』の発信</li> <li>・『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』を活用した在宅栄養ケア</li> <li>・各施設の食形態標準化にかかる訪問サポートニーズの把握</li> </ul>			
・主体	岩手県食形態分類標準化推進委員会（事務局/公益社団法人岩手県栄養士会）			
・対象	岩手県内の病院、診療所、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、高齢者介護特定施設等			
・調査方法	<p>栄養士会からの調査票郵送による自記式アンケート</p> <p>回答者は、各施設の管理栄養士・栄養士とし、ファックス、メールによる提出</p>			
・期日	令和5年1月～2月			
・調査対象数及び回収率	詳細	R3 調査対象数	今回の回答数	回答率
	病院	108	93	86.1%
	① 一般病院	92	83	90.2%
	② 有床診療所	16	10	62.5%
	介護老人保健施設	65	53	81.5%
	介護老人福祉施設	113	106	93.8%
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	55	44	80.0%
	特定施設入居者生活介護	32	18	56.3%
	介護療養型医療施設・介護医療院(再掲)	6	6	100.0%
	合計	373	314	84.2%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査対象は、令和3年度調査に回答のあった施設を基準とした。</li> <li>・ 「地域密着型介護老人福祉施設」とは、入所定員が29人以下の特別養護老人ホーム</li> <li>・ 「特定施設入居者生活介護」とは、要介護者を対象として行われる、日常生活上の世話、機能訓練、療養上の世話を行う有料老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス)、養護老人ホーム</li> <li>・ 「介護療養型医療施設」とは、比較的重度の要介護者に対し、充実した医療処置とリハビリを提供する施設</li> </ul>			

### ・施設区分別 給食実施の状況 (令和3年9月～令和4年12月までの給食実施の変化)

施設区分	継続実施	給食を休止	給食無(停止)	無回答
病院	91 (97.8%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
①一般病院	82 (98.8%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
②有床診療所	9 (90.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
介護老人保健施設	53 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
介護老人福祉施設	106 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	44 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
特定施設入居者生活介護	18 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	312 (99.4%)	2 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

・( )内は、回答のあった全施設における%を示す。

1. 対応している嚥下調整食(食事)  
・施設別 今年度(令和4年度)の実態

学会分類2013及び2021を基準

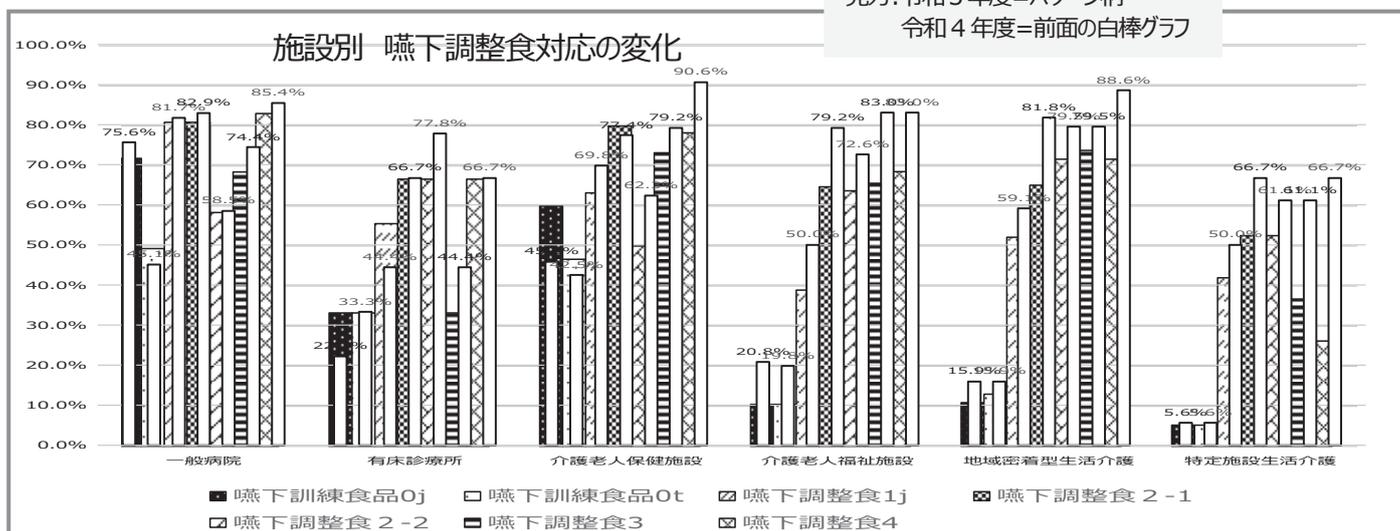
施設区分	嚥下訓練 食品 0j	嚥下訓練 食品 0t	嚥下調整 食 1j	嚥下調整 食 2-1	嚥下調整 食 2-2	嚥下調整 食 3	嚥下調整 食 4
病院	64	40	71	74	55	65	76
	70.3%	44.0%	78.0%	81.3%	60.4%	71.4%	83.5%
①一般病院	62	37	67	68	48	61	70
	75.6%	45.1%	81.7%	82.9%	58.5%	74.4%	85.4%
②有床診療所	2	3	4	6	7	4	6
	22.2%	33.3%	44.4%	66.7%	77.8%	44.4%	66.7%
介護老人保健施設	24	22	37	41	33	42	48
	45.3%	41.5%	69.8%	77.4%	62.3%	79.2%	90.6%
介護老人福祉施設	22	21	53	84	77	88	88
	20.8%	19.8%	50.0%	79.2%	72.6%	83.0%	83.0%
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	7	7	26	36	35	35	39
	15.9%	15.9%	59.1%	81.8%	79.5%	79.5%	88.6%
特定施設入居者生活介護	1	1	9	12	11	11	12
	5.6%	5.6%	50.0%	66.7%	61.1%	61.1%	66.7%
合計	118	91	196	247	211	241	263
	37.8%	29.2%	62.8%	79.2%	67.6%	77.2%	84.3%

・施設別 昨年度(令和3年度)の実態

施設区分(複数回答あり)	嚥下訓練 食品 0j	嚥下訓練 食品 0t	嚥下調整 食 1j	嚥下調整 食 2-1	嚥下調整 食 2-2	嚥下調整 食 3	嚥下調整 食 4
病院	67	47	77	78	58	64	80
	68.4%	48.0%	78.6%	79.6%	59.2%	65.3%	81.6%
①一般病院	64	44	72	72	52	61	74
	71.9%	49.4%	80.9%	80.9%	58.4%	68.5%	83.1%
②有床診療所	3	3	5	6	6	3	6
	33.3%	33.3%	55.6%	66.7%	66.7%	33.3%	66.7%
介護老人保健施設	36	28	38	48	30	44	47
	60.0%	46.7%	63.3%	80.0%	50.0%	73.3%	78.3%
介護老人福祉施設	11	11	41	68	67	69	72
	10.5%	10.5%	39.0%	64.8%	63.8%	65.7%	68.6%
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	5	6	24	30	33	34	33
	10.9%	13.0%	52.2%	65.2%	71.7%	73.9%	71.7%
特定施設入居者生活介護	1	1	8	10	10	7	5
	5.3%	5.3%	42.1%	52.6%	52.6%	36.8%	26.3%
合計	120	93	188	234	198	218	237
	36.6%	28.4%	57.3%	71.3%	60.4%	66.5%	72.3%

『嚥下調整食マネジメント 岩手県ガイドライン』の活用により、今回回答のあった病院、施設の全てが嚥下調整食を実施している。特に、一般病院が、患者の嚥下咀嚼の状態に応じた多様な調整食に取り組んでおり、それを見習うように各施設ともに対応が拡大されている。昨年度に比べ、介護福祉施設、地域密着型生活介護、特定施設生活介護での取組が、平均12ポイント程度増加している。

見方: 令和3年度=パターン柄  
令和4年度=前面の白棒グラフ



## 2 施設が対応している嚥下調整食(とろみ)

### ・施設別 今年度(令和4年度)の実態

施設区分(複数回答あり)	薄いとろみ	中間のとろみ	濃いとろみ
病院	39 42.9%	80 87.9%	54 59.3%
①一般病院	34 41.5%	72 87.8%	48 58.5%
②有床診療所	5 55.6%	8 88.9%	6 66.7%
介護老人保健施設	39 73.6%	50 94.3%	40 75.5%
介護老人福祉施設	86 81.1%	95 89.6%	81 76.4%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	37 84.1%	42 95.5%	36 81.8%
特定施設入居者生活介護	11 61.1%	16 88.9%	7 38.9%
合計	212 67.9%	283 90.7%	218 69.9%

とろみの対応についての年次変化はみられない。全体的には、「中間のとろみ」の対応が多いが、病院では患者の嚥下状態を観察し、「薄いとろみ」、「濃いとろみ」を判別して提供している状況が分かる。

一般的にとろみが濃い方が食べさせる介助が楽になるが、摂食者にとっては“でんぷん”が多くなることから、咽頭通過が悪く(つまる)ことがある。

とろみの使用量については、介助者と共に摂食者の安全をモニタリング確認し、適切なとろみで供するようにすすめたい。

### ・施設別 昨年度(令和3年度)の実態

施設区分(複数回答あり)	薄いとろみ	中間のとろみ	濃いとろみ
病院	42 44.2%	86 90.5%	57 60.0%
①一般病院	38 43.2%	79 89.8%	53 60.2%
②有床診療所	4 57.1%	7 100.0%	4 57.1%
介護老人保健施設	37 63.8%	56 96.6%	44 75.9%
介護老人福祉施設	78 82.1%	85 89.5%	76 80.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	37 84.1%	43 97.7%	37 84.1%
特定施設入居者生活介護	11 68.8%	14 87.5%	8 50.0%
合計	205 68.1%	284 94.4%	222 73.8%

## 3 『栄養管理情報提供書』の発信状況

### ・施設別 今年度(令和4年度)の実態

(2022年4月～同年12月末までの9か月間) %は各施設全数における発信施設数の割合

施設区分	0	1~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100以上	無回答
病院	31 34.1%	25 27.5%	4 4.4%	6 6.6%	3 3.3%	3 3.3%	4 4.4%	1 1.1%	3 3.3%	2 2.2%	2 2.2%	6 6.6%	1 1.1%
①一般病院	25 30.5%	24 29.3%	4 4.9%	6 7.3%	3 3.7%	3 3.7%	4 4.9%	1 1.2%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	6 7.3%	0 0.0%
②有床診療所	6 66.7%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
介護老人保健施設	15 28.3%	21 39.6%	7 13.2%	4 7.5%	1 1.9%	3 5.7%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護老人福祉施設	83 78.3%	14 13.2%	8 7.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	40 90.9%	3 6.8%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	15 83.3%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	184 59.0%	66 21.2%	20 6.4%	10 3.2%	4 1.3%	6 1.9%	5 1.6%	2 0.6%	3 1.0%	2 0.6%	2 0.6%	6 1.9%	2 0.6%

・施設別 昨年度(令和3年度)の実態

(2021年7月～同年9月末までの3カ月間) %は各施設全数における発信施設数の割合

施設区分 (N=328)	0件	1～19	20～39	40～59	60～79	80～99	100以上
病院	43 43.9%	41 41.8%	6 6.1%	4 4.1%	2 2.0%	1 1.0%	1 1.0%
①一般病院	39 43.8%	36 40.4%	6 6.7%	4 4.5%	2 2.2%	1 1.1%	1 1.1%
②有床診療所	4 44.4%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護老人保健施設	27 45.0%	33 55.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護老人福祉施設	91 86.7%	13 12.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	41 91.1%	4 8.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	16 88.9%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	218 66.9%	93 28.5%	6 1.8%	4 1.2%	2 0.6%	2 0.6%	1 0.3%

・年次別 発信施設数と平均発信数

施設区分	令和4年度(2022.4～12 までの9カ月間)		左記の 3カ月分 平均発信数	令和3年度(2021.7～9までの 3カ月間)		
	発信施設数	平均発信数		回答数	発信施設数	平均発信数
病院	59 64.8%	48.8	16.3	98	55 56.1%	16.5
①一般病院	57 69.5%				50 56.2%	
②有床診療所	2 22.2%	41.5	13.8	9	5 55.6%	3.0
介護老人保健施設	38 71.7%				33 55.0%	
介護老人福祉施設	22 20.8%	7.3	2.4	105	14 13.3%	11.1
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	4 9.1%				4 8.7%	
特定施設入居者生活介護	3 16.7%	1.7	0.6	19	2 10.5%	3.5
合計	126 40.4%				29.1	

『栄養管理情報提供書』は、現在入院中の病院と転院先及び介護施設間の栄養アセスメントをつなぐ重要な“食の連携パス”である。一昨年の本事業スタート時から、目標にすえ発信拡大をめざし機会ある度に拡大を図ってきたことが作用し、昨年度より、発信施設数が増加傾向にある。しかし、施設当たりの発信数は、有床診療所を除き、全ての施設で減少しており、介護老人福祉施設での減少は顕著である。

令和4年秋より、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の大流行により、かなりの感染者や高齢者施設においてはクラスターが発生し、その対応に管理栄養士も繁務となったことが強く影響されていると考える。

### 3-2 情報発信しない理由

発信件数が0、又は少ない(死亡を除く退院患者及び退所者の1/10以下)の施設の理由

施設区分 (N=247 複数回答あり)"	a 発信する必要性が分からない	b 他の栄養指導業務等で時間がない	c 記入の仕方がよく分からない	d 管理栄養士・栄養士の同意が得られない	e 他職種との協働で情報提供書を作成できていない	f 類似した様式で対応している	g 発信しても管理栄養士の評価につながらない	h①転移者がいない、対象患者がいない	h②依頼がない、要望ある時だけ対応	h③電話で連絡	h④その他
病院	2 3.0%	25 37.9%	1 1.5%	0 0.0%	16 24.2%	16 24.2%	6 9.1%	12 18.2%	7 10.6%	3 4.5%	6 9.1%
①一般病院	0 0.0%	25 42.4%	1 1.7%	0 0.0%	15 25.4%	14 23.7%	6 10.2%	7 11.9%	7 11.9%	3 5.1%	5 8.5%
②有床診療所	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
介護老人保健施設	0 0.0%	3 10.3%	1 3.4%	0 0.0%	4 13.8%	14 48.3%	0 0.0%	4 13.8%	1 3.4%	2 6.9%	1 3.4%
介護老人福祉施設	3 3.2%	7 7.5%	3 3.2%	0 0.0%	15 16.1%	36 38.7%	2 2.2%	32 34.4%	3 3.2%	5 5.4%	1 1.1%
地域密着型介護施設入所者生活介護	2 4.9%	3 7.3%	2 4.9%	0 0.0%	10 24.4%	15 36.6%	1 2.4%	13 31.7%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	1 5.6%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	3 16.7%	7 38.9%	0 0.0%	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	1 5.6%
合計	8 3.2%	39 15.8%	9 3.6%	0 0.0%	48 19.4%	88 35.6%	9 3.6%	63 25.5%	14 5.7%	11 4.5%	9 3.6%

### 3-3 当事業ガイドラインで提案した『栄養管理情報提供書』を利用しない理由

施設区分 (N=312 複数回答あり)"	a 発信する必要性が分からない	b 施設独自の様式を使用している	c 様式を決めずに、その都度必要情報を伝達	d 使いづらい	e 業務整理ができていない	f 発信する事務フロー等のしくみができていない	g①転移者がいない、対象患者がいない	g②その他
病院	0 0.0%	25 27.5%	15 16.5%	3 3.3%	6 6.6%	14 15.4%	7 7.7%	0 0.0%
①一般病院	0 0.0%	24 29.3%	13 15.9%	3 3.7%	5 6.1%	13 15.9%	3 3.7%	0 0.0%
②有床診療所	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	4 44.4%	0 0.0%
介護老人保健施設	0 0.0%	11 20.8%	11 20.8%	0 0.0%	4 7.5%	3 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
介護老人福祉施設	1 0.9%	11 10.4%	55 51.9%	1 0.9%	8 7.5%	15 14.2%	12 11.3%	1 0.9%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0 0.0%	8 18.2%	14 31.8%	0 0.0%	5 11.4%	8 18.2%	9 20.5%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	1 5.6%	2 11.1%	7 38.9%	0 0.0%	0 0.0%	5 27.8%	0 0.0%	3 16.7%
合計	2 0.6%	57 18.3%	102 32.7%	4 1.3%	23 7.4%	45 14.4%	28 9.0%	4 1.3%

今年度の結果では、『栄養管理情報提供書』をまったく発信したことがない施設が59%存在する。その理由の多くが「類似した様式」または「自施設独自様式により発信している」が多いことや、「様式を決めずにその都度必要な情報を発信」など、転移する施設とは何らかの繋がりをもっていることが分かる。また、「他職種との協働」や「発信するためのシステム不足」などを理由としている施設が散見する。

#### 4 『栄養管理情報提供書』の受理状況

##### ・施設別 今年度(令和4年度)の実態

(2022年4月～同年12月末までの9か月間) %は各施設全数における発信施設数の割合

施設区分	0	1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100以上	無回答
病院	17 18.7%	39 42.9%	17 18.7%	7 7.7%	3 3.3%	2 2.2%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	4 4.4%
①一般病院	12 14.6%	36 43.9%	17 20.7%	7 8.5%	3 3.7%	2 2.4%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	3 3.7%
②有床診療所	5 55.6%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
介護老人保健施設	7 13.2%	32 60.4%	10 18.9%	3 5.7%	0 0.0%	1 1.9%							
介護老人福祉施設	19 17.9%	71 67.0%	12 11.3%	2 1.9%	0 0.0%	2 1.9%	0 0.0%						
地域密着型介護老人福祉施設 施設入所者生活介護	22 50.0%	22 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	6 33.3%	12 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	71 22.8%	176 56.4%	39 12.5%	12 3.8%	3 1.0%	4 1.3%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	5 1.6%

##### ・施設別 昨年度(令和3年度)の実態

(2021年7月～同年9月末までの3か月間) %は各施設全数における受理施設数の割合

施設区分	0	1～19	20～39	40～59	60～79	80～99	100以上
病院	43 43.9%	49 50.0%	6 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
①一般病院	37 41.6%	46 51.7%	6 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
②有床診療所	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護老人保健施設	18 30.0%	41 68.3%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護老人福祉施設	46 44.2%	57 54.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%
地域密着型介護老人福祉施設 施設入所者生活介護	32 71.1%	13 28.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	15 83.3%	3 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	154 47.2%	163 50.0%	7 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%

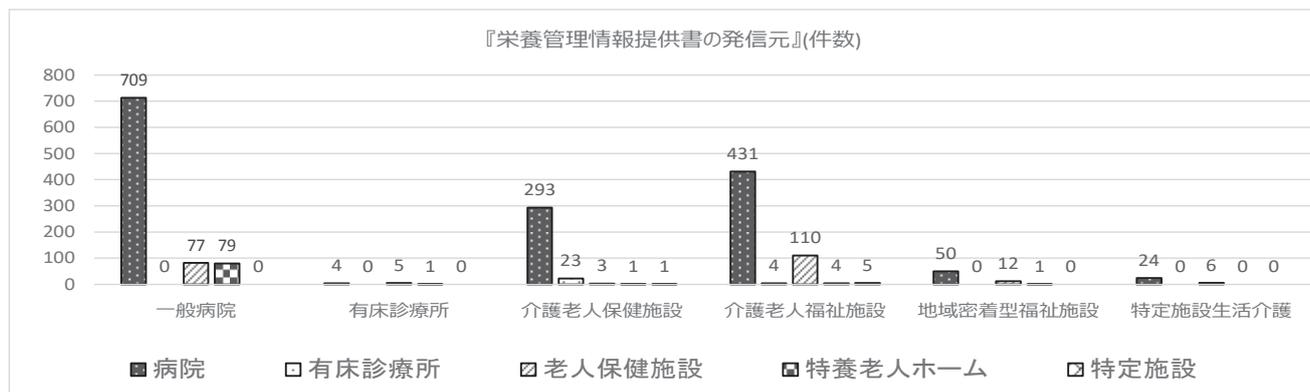
##### ・年次別 受理施設数と平均受理数

施設区分	令和4年度(2022.4～12 までの9か月間)		左記の 3か月分 平均受理数	令和3年度(2021.7～9までの 3か月間)		
	受理施設数	平均受理数		回答数	受理施設数	平均受理数
病院	70 76.9%	12.5	4.2	98	55 56.1%	6.3
①一般病院	67 81.7%	12.9	4.3	89	52 58.4%	6.6
②有床診療所	3 33.3%	3.3	1.1	9	3 33.3%	1.3
介護老人保健施設	45 84.9%	7.1	2.4	60	42 70.0%	3.8
介護老人福祉施設	87 82.1%	6.4	2.1	105	58 55.2%	5.3
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	22 50.0%	2.9	1.0	46	13 28.3%	2.5
特定施設入居者生活介護	12 66.7%	2.5	0.8	19	3 15.8%	1.3
合計	236 75.6%	7.8	2.6	328	171 52.1%	5.0

受理件数は概ね発信件数の半分である。前述のとおり、「様式が定まったものでない」「その都度変更」「自施設独自の様式における栄養管理情報のボリューム」「看護サマリーへの付記」。また、「管理栄養士に伝わっていない」ことも考慮される。医療連携先は概ね定まっていることから、「食の連携パス」が発信先において認知活用されるよう、システムを整える必要がある。

## 4-2 受理状況

### ・受理件数と発信元内訳



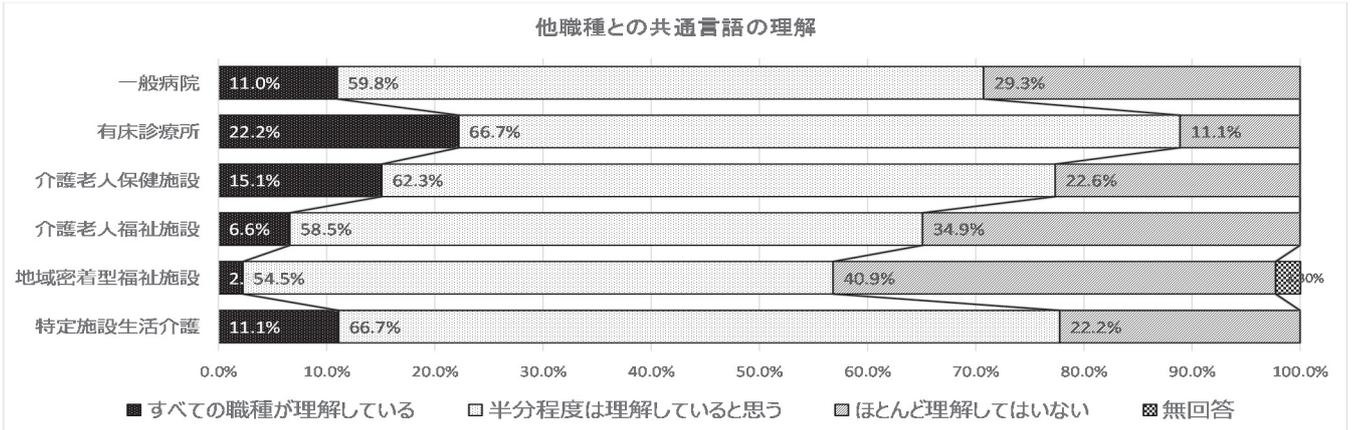
『栄養管理情報提供書』の発信元の多くが病院からであり、転院先の二次病院、特別養護老人ホーム、老健施設の順になっている。病院から発信した情報は、「患者の具体的な摂食嚥下状態」、「今までの栄養摂取状況」、「経腸栄養や補助食品情報」などがスピーディーに伝わったことで「入院・入所後の給食対応がスムーズにできた」と低栄養、症病重症化対策に大きく貢献している。また、発信元の管理栄養士を含む多職種との連携拡大にも繋がっている。患者のためだけでなく、お互いに教え合う、知識を交換することが今後の職制に有効だと思われる。

### ・『栄養管理情報提供書』を受理した効果

施設区分 (N=312 複数回答あり)	a 摂食・ 嚥下の状 況がよく分 かった	b 栄養 摂取の全 体が分か った	c 入院・ 入所後の 給食が迅 速に対応 できた	d 調理へ の指示説 明に役 立った	e 経腸 栄養剤や 補助食品 等の情報 が役立った	f 投薬の 情報が役 立った	g 発信 元の管理 栄養士と その後も 情報交換 ができた	h その他 (自由記 載)
病院	58 63.7%	57 62.6%	47 51.6%	16 17.6%	41 45.1%	2 2.2%	8 8.8%	9 9.9%
①一般病院	54 65.9%	54 65.9%	45 54.9%	13 15.9%	38 46.3%	1 1.2%	7 8.5%	8 9.8%
②有床診療所	4 44.4%	3 33.3%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%
介護老人保健施設	36 67.9%	33 62.3%	33 62.3%	15 28.3%	25 47.2%	2 3.8%	6 11.3%	3 5.7%
介護老人福祉施設	70 66.0%	68 64.2%	59 55.7%	23 21.7%	47 44.3%	8 7.5%	17 16.0%	10 9.4%
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	23 52.3%	17 38.6%	18 40.9%	3 6.8%	10 22.7%	1 2.3%	3 6.8%	1 2.3%
特定施設入居者生活介護	10 55.6%	7 38.9%	10 55.6%	2 11.1%	4 22.2%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%
合計	197 63.1%	182 58.3%	167 53.5%	59 18.9%	127 40.7%	15 4.8%	36 11.5%	24 7.7%

## 5 他職種との共有

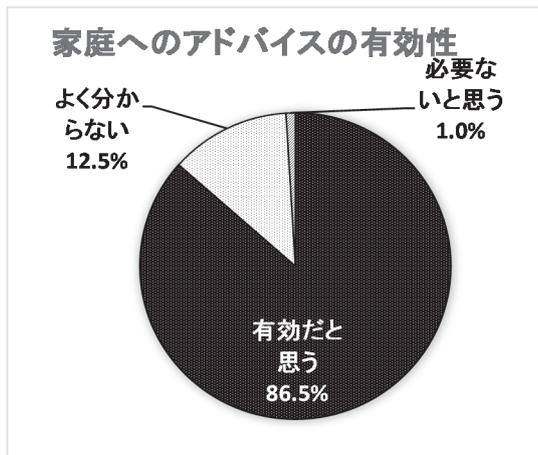
・『嚥下調整食』の意味を他職種と“共通言語”として理解(使用)しているか



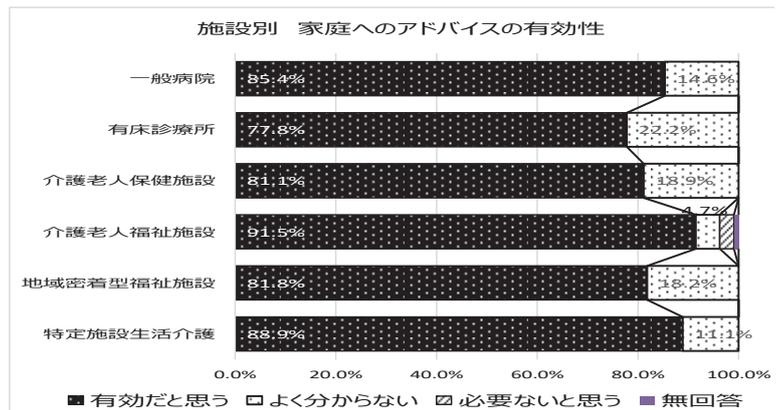
他職種との共有、連携の指標として『嚥下調整食』というワードを用いてみた。「殆ど理解してはいない」の回答が多かった施設ほど、職員間のコミュニケーションが少ない職場であろうか。他職種との連携は、待っていても始まらない。実際に自己の知識と行動の拡大になるよう自身からアクションを起こすことが一番的確な前進であると考察する。今後の業務に一番つながるネットワークである。

## 6 『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』は、各家庭での低栄養予防・症病の重症化予防に有効だと思うか？

・全施設 アドバイスの有効性

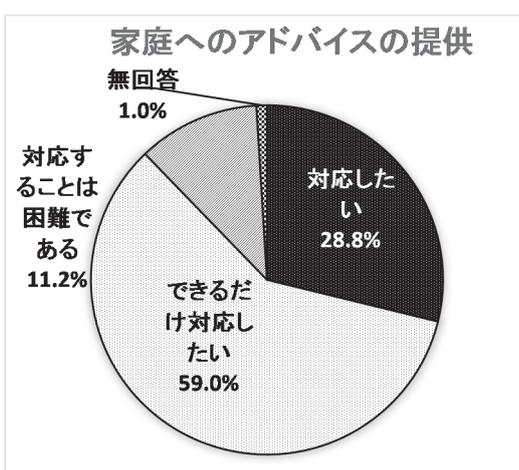


・施設別 アドバイスの有効性

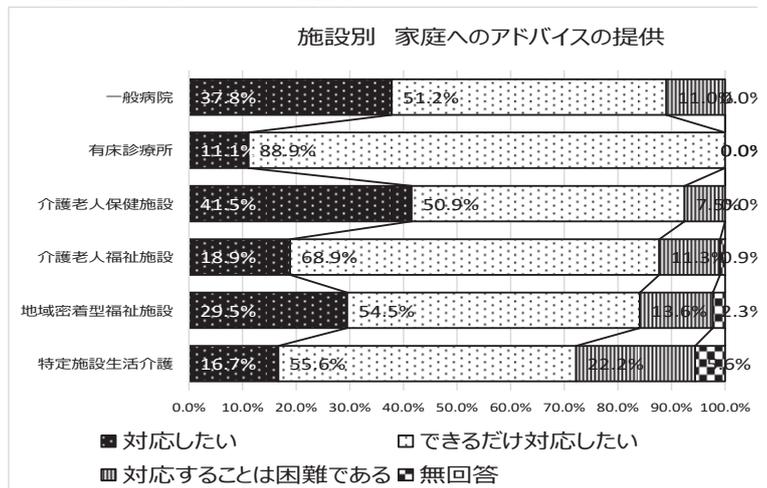


## 6-2 貴施設では在宅に戻る方に、『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』を提供することができるか？ 提供する対象者は、嚥下調整食が必要な方、低栄養等の予防対策が必要な方、経腸・経管栄養、補助食品、濃厚流動等の特別な栄養管理が必要な方についてアドバイスするもの

・全施設 アドバイスの提供



・施設別 アドバイスの提供

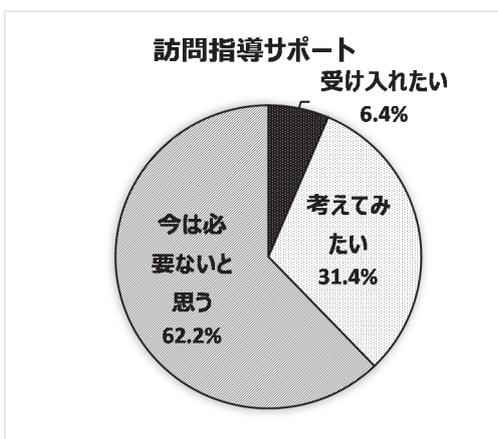


地域包括ケアシステムが進行する中で、医療加護が必要な高齢者以外は自宅で家族との生活を望まれる方が多い。つまり、病院や介護施設等から自宅に戻った時、その家族は日々の食事に関して大きな不安を抱える時に、『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』がかなりの道標となる。高齢者の食事を見守ってきた管理栄養士から、身近な食品から具体的な料理法でアドバイスをさせてもらうことが、施設利用者への大切なサポートになる。

また、これからは在宅栄養ケアのニーズが高まることから、高齢に伴う身体変化と栄養管理、在宅療養の実践力を備えていきたい。

## 7 嚥下調整食の指導者からの訪問サポートを希望するか？

当事業において、実務経験豊富な講師を派遣することとし、その訪問指導の有無を照会  
 ・専門指導者からの訪問サポートの希望 ・施設別 訪問サポートの希望



施設区分	受け入れたい	考えてみたい	今は必要ないと思う	無回答
病院	5	20	66	0
	5.5%	22.0%	72.5%	0.0%
①一般病院	5	19	58	0
	6.1%	23.2%	70.7%	0.0%
②有床診療所	0	1	8	0
	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%
介護老人保健施設	4	20	29	0
	7.5%	37.7%	54.7%	0.0%
介護老人福祉施設	8	34	64	0
	7.5%	32.1%	60.4%	0.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3	14	27	0
	6.8%	31.8%	61.4%	0.0%
特定施設入居者生活介護	0	10	8	0
	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%
合計	20	98	194	0
	6.4%	31.4%	62.2%	0.0%

### 調査結果のまとめ

本事業の目的として掲げた①各施設での嚥下調整食の実施については、必要と判断した方々に適切に提供していることが分かった。『嚥下調整食マネジメント 岩手県ガイドライン』や調理法ユーチューブにより、物性の見直しや食形態の種類が拡大されている。②“食支援連携パス”としての『栄養管理情報提供書』の発信においても、必要性を理解し発信件数が向上しており、多職種および関連施設との連携、管理栄養士のネットワーク強化に活用したい。

③『安全に食べるための栄養・食生活アドバイス』は既に介護施設等で進められており、在宅栄養ケアは超高齢社会では益々必要なものとして知識と実践対応が求められる。その実現に向け、令和5年度からスタートする④専門指導者の訪問サポートを実施し、県内の高齢者の皆さんが美味しく食べられる嚥下調整食の標準化をめざしていきたいと考えます。

## 岩手県食形態分類標準化推進委員会

【運営事務局】 公益社団法人岩手県栄養士会 E-mail:i-dietitian1@iwate-eiyoshikai.or.jp  
 TEL:019-625-3706 FAX:019-625-3707